

【欧米】 1 \_\_\_\_\_ の台頭とヴェルサイユ体制(国際協調路線)の崩壊 ←世界恐慌

2 全体主義的体制 独裁的・反民主主義的 イタリア語のファッショ(結束)が語源

3 国家社会主義(国家の社会政策によって資本主義の弊害をのぞく)を自称

4 \_\_\_\_\_ ・少数者排除などを掲げて国民的結集をはかり、民衆の支持を得る

※ 5 \_\_\_\_\_ …反ファシズムで共産主義と社会民主主義が協力

スペインフランスでは政権を獲得した(6 人民戦線内閣)が短命に終わる

<例> イタリア 7 ファシスタ党の 8 ムッソリーニ政権(1922～) … 9 エチオピア侵略(1935)、

ドイツ 10 ナチスの 11 ヒトラー政権(1933～) 国際連盟脱退(1937)

12 国家(国民)社会主義ドイツ労働者党

国際連盟脱退(1933)、再軍備宣言(1935)、ユダヤ迫害など

外交に関する協定(1936)…「ベルリン・ローマ 13 \_\_\_\_\_ (the Axis)」

☆世界は

3つの陣営対立構造へ

- |    |                       |
|----|-----------------------|
| A. | 枢軸国陣営 …イタリア、ドイツ       |
| B. | 自由主義陣営…アメリカ、イギリス、フランス |
| C. | 共産主義陣営…ソ連、(人民戦線)      |

<例>スペイン内戦(1936～39)…独・伊 A の介入で反人民戦線の 14 フランコ将軍が勝利 英仏 B は不介入

ミュンヘン協定(1938)…独 A のチェコスロヴァキア(ズデーテン地方)への勢力拡大を英仏 B が容認

【中国】 政府 = 15 中国国民党 (B) は 16 中国共産党 (C) と対立 (1927～ 国共内戦)

17 \_\_\_\_\_ が主導、延安へ本拠地を移動(“ 18 長征”)

八・一宣言(1935)…団結を訴える “抗日救国”

日本による 19 華北分断工作…満州国に隣接する中国の華北5省に支配を広げる策略

1935. 梅津・何応欽協定、土肥原・秦徳純協定など

20 冀東地区防共自治政府発足(日本の傀儡) …中国は慎重

21 \_\_\_\_\_ (22 1936) … 23 張学良が 24 蔣介石を監禁して内戦停止を要求

## 日中全面戦争の開始

25 \_\_\_\_\_ 内閣 1936. 3～37. 2 ←二・二六事件後、軍部が組閣や政策に干渉

…… 外交官出身 齋藤・岡田内閣の外相(外務大臣)

① 26 軍部大臣現役武官制の復活(1936) → 軍の意向が内閣の存立を左右

② 軍備拡張政策 ← 27 ワシントン条約・ロンドン条約の満期失効(1936)

「28 国策の基準」(1936) … 陸海軍による「帝国国防方針」改定にもとづく

陸軍は北進(ソ連)、海軍は南進(東南アジア・南洋諸島)の準備 → 増税と赤字国債発行

③ 30 \_\_\_\_\_ の締結 A (30 1936) … ソ連を仮想敵国 (29 馬場財政)

☆ 浜田国松(政友会)による軍部批判 → 寺内寿一(陸相)が激怒(「腹切り問答」) → 総辞職

31 \_\_\_\_\_ 政友会と民政党が協力 → 32 陸軍が反発(陸相を推挙せず) → 不成立 ←

…… 陸軍の穏健派 朝鮮総督 憲政会・民政党内閣の陸相を歴任 軍縮を実行

33 \_\_\_\_\_ 内閣 1937. 2～5 軍部独裁内閣(政党员を一人も入閣させない)

…… 陸軍 朝鮮軍司令官 齋藤・岡田内閣の陸相

結城豊太郎蔵相の軍財抱合財政(軍備拡張) 予算成立後に解散を強行 → 総選挙後に総辞職

34 \_\_\_\_\_ 内閣 1937. 6～39. 1 貴族院議長 国民の期待

ろこうきょう  
35 盧溝橋事件(36 \_\_\_\_\_ 年7/7夜) … 北京郊外で日本軍(37 支那駐屯軍)と中国軍が衝突

→ さらに 38 第二次上海事変(8/9) … → 戦線の拡大

※ 名称 “39 北支事変” → “40 支那事変” → “41 日華事変” が、実態は全面戦争 … 「42 \_\_\_\_\_」

中国では 43 抗日民族統一戦線の成立 … 44 第2次国共合作(9月)

1937. 12 首都 45 \_\_\_\_\_ 占領 → 46 南京事件(日本軍による略奪・暴行・虐殺) 数万人?

政府は 不拡大方針 … 無視 ▲ 派兵を閣議決定 → ドイツ駐華大使 47 トラウトマン が和平を斡旋  
→ 政府、和平工作で過酷な条件を示す … 「48 国民政府を対手とせず」 (49 \_\_\_\_\_ 1938. 1)

1938. 10 武漢三鎮(武昌・漢口・漢陽) 占領 → 国民政府は 50 \_\_\_\_\_ へ → 長期戦(泥沼)化

1938. 11 「52 第2次近衛声明(53 東亜新秩序声明)」 ← 米・英・ソなどが援助(51 援蔣ルート)

… 戦争の目的は「東亜永遠の安定を確保すべき新秩序の建設」であると主張

1938. 12 国民党副総裁 54 \_\_\_\_\_ (55 汪精衛) がヴェトナムへ脱出

→ のち(1940)、56 新国民政府(南京政府)の樹立 … 日本の傀儡政権 弱体

1938. 12 「57 第3次近衛声明(58 \_\_\_\_\_)」 … 「善隣友好・共同防共・経済提携」

【正誤問題に挑戦】 <1998追試験A(改)、1991年本試験、より>

- ① 二・二六事件の後、軍部大臣現役武官制が復活し、内閣の存立は軍部によって脅かされることになった。
- ② 日本政府(近衛内閣)はただちに中国に宣戦布告し、大軍を派遣して戦線を拡大した。

【欧米】 1 **ファシズム** の台頭とヴェルサイユ体制(国際協調路線)の崩壊 ←世界恐慌

2 **全体主義** 的体制 独裁的・反民主主義的 イタリア語のファッショ(結束)が語源

3 **国家社会主義**(国家の社会政策によって資本主義の弊害をのぞく)を自称

4 **反共産主義** ・少数者排除などを掲げて国民的結集をはかり、民衆の支持を得る

※ 5 **人民戦線** …反ファシズムで共産主義と社会民主主義が協力

スペインフランスでは政権を獲得した(6 **人民戦線内閣**) が短命に終わる

<例> イタリア 7 **ファシスタ党** の 8 ムッソリーニ政権(1922～) … 9 エチオピア侵略(1935)、

ドイツ 10 **ナチス** の 11 ヒトラー政権(1933～) 国際連盟脱退(1937)

12 **国家(国民)社会主義ドイツ労働者党**

国際連盟脱退(1933)、再軍備宣言(1935)、ユダヤ迫害など

外交に関する協定(1936)…「ベルリン・ローマ 13 **枢軸** (the Axis)」

☆世界は

3つの陣営対立構造へ

- |    |                       |
|----|-----------------------|
| A. | 枢軸国陣営 …イタリア、ドイツ       |
| B. | 自由主義陣営…アメリカ、イギリス、フランス |
| C. | 共産主義陣営…ソ連、(人民戦線)      |

<例>スペイン内戦(1936～39)…独・伊 A の介入で反人民戦線の 14 フランコ将軍が勝利 英仏 B は不介入

ミュンヘン協定(1938)…独 A のチェコスロヴァキア(ズデーテン地方)への勢力拡大を英仏 B が容認

【中国】 政府 = 15 **中国国民党** (B) は 16 **中国共産党** (C) と対立 (1927～ 国共内戦)

17 **毛沢東** が主導、延安へ本拠地を移動(“ 18 **長征** ”)

八・一宣言(1935)…団結を訴える “抗日救国”

日本による 19 **華北分断工作**…満州国に隣接する中国の華北5省に支配を広げる策略

1935. 梅津・何応欽協定、土肥原・秦徳純協定など

20 **冀東地区防共自治政府**発足(日本の **傀儡**) …中国は慎重

21 **西安事件** (22 1936) … 23 **張学良** が 24 **蒋介石** を監禁して内戦停止を要求

## 日中全面戦争の開始

25 **広田弘毅** 内閣 1936.3~37.2 ←二・二六事件後、軍部が組閣や政策に干渉

…外交官出身 齋藤・岡田内閣の外相(外務大臣)

① 26 **軍部大臣現役武官制の復活**(1936) → 軍の意向が内閣の存立を左右

② 軍備拡張政策 ← 27 **ワシントン条約・ロンドン条約の満期失効**(1936)

「28 **国策の基準**」(1936)…陸海軍による「**帝国国防方針**」改定にもとづく

陸軍は北進(ソ連)、海軍は南進(東南アジア・南洋諸島)の準備 → 増税と赤字国債発行

③ 30 **日独防共協定** の締結 (30) 1936)…ソ連を**仮想敵国** (29 **馬場財政**)

☆浜田国松(政友会)による軍部批判 → 寺内寿一(陸相)が激怒(「腹切り問答」) → 総辞職

31 **宇垣一成** 政友会と民政党が協力 → 32 **陸軍が反発**(陸相を推挙せず) → 不成立 ←

…陸軍の穏健派 朝鮮総督 憲政会・民政党内閣の陸相を歴任 軍縮を実行

33 **林銑十郎** 内閣 1937.2~5 軍部独裁内閣(政党员を一人も入閣させない)

…陸軍 朝鮮軍司令官 齋藤・岡田内閣の陸相

結城豊太郎蔵相の軍財抱合財政(軍備拡張) 予算成立後に解散を強行 → 総選挙後に総辞職

34 **近衛文麿** 内閣 1937.6~39.1 貴族院議長 国民の期待

35 **盧溝橋事件**(36) 1937年7/7夜)…北京郊外で日本軍(37 **支那駐屯軍**)と中国軍が衝突

→ さらに 38 **第二次上海事変**(8/9)… → 戦線の拡大

※名称 “39 **北支事変**” → “40 **支那事変**” → “41 **日華事変**” が、実態は全面戦争… 「42 **日中戦争**」

中国では 43 **抗日民族統一戦線**の成立… 44 **第2次国共合作**(9月)

1937.12 首都 45 **南京** 占領 → 46 **南京事件**(日本軍による略奪・暴行・虐殺) 数万人?

政府は 不拡大方針… 無視 ▲ 派兵を閣議決定 → ドイツ駐華大使 47 **トラウトマン** が和平を斡旋  
→ 政府、和平工作で過酷な条件を示す… 「48 **国民政府を相手とせず**」 (49 **近衛声明** 1938.1)

1938.10 武漢三鎮(武昌・漢口・漢陽)占領 → 国民政府は 50 **重慶** → 長期戦(泥沼)化

1938.11 「52 **第2次近衛声明**(53 **東亜新秩序声明**)」 ← 米・英・ソなどが援助(51 **援蔣ルート**)

…戦争の目的は「東亜永遠の安定を確保すべき新秩序の建設」であると主張

1938.12 国民党副総裁 54 **汪兆銘** (55 **汪精衛**) がヴェトナムへ脱出

→ のち(1940)、56 **新国民政府(南京政府)**の樹立… 日本(57 **傀儡政権**) 弱体

1938.12 「57 **第3次近衛声明**(58 **近衛三原則**)」… 「善隣友好・共同防共・経済提携」

【正誤問題に挑戦】 <1998追試験A(改)、1991年本試験、より>

① 二・二六事件の後、軍部大臣現役武官制が復活し、内閣の存立は軍部によって脅かされることになった。

② 日本政府(近衛内閣)は **ただちに中国に宣戦布告し**、大軍を派遣して戦線を拡大した。